

文部科学大臣 殿

学校法人 長崎総合科学大学
理事長 立石 暁

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	長崎総合科学大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	<input checked="" type="radio"/> 大学・ <input type="radio"/> 短期大学・ <input type="radio"/> 高等専門学校・ <input type="radio"/> 専門学校)
大学等の所在地	長崎県長崎市網場町 5 3 6 番地
学長又は校長の氏名	池上 国広
設置者の名称	学校法人 長崎総合科学大学
設置者の主たる事務所の所在地	長崎県長崎市網場町 5 3 6 番地
設置者の代表者の氏名	立石 暁
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://nias.ac.jp/60_Administration/kouhyou.html

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第 7 条第 1 項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実に相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第 7 条第 2 項第 3 号及び第 4 号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	財務課・相川一洋	095-838-5111	AIKAWA_Kazuhiro@NiAS.ac.jp
第2号の1	教務課・佐々野浩一	095-838-5308	SASANO_Koichi@NiAS.ac.jp
第2号の2	総務企画課・石丸雅丈	095-838-5107	ISHIMARU_Masatake@NiAS.ac.jp
第2号の3	教務課・佐々野浩一	095-838-5308	SASANO_Koichi@NiAS.ac.jp
第2号の4	学務政策課・大和正信	095-838-5128	YAMATO_Masanobu@NiAS.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1) 実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2) ①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(3) ②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(4) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人長崎総合科学大学

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	1,781,701,051円	1,810,993,567円	▲29,292,516円
申請2年度前の決算	1,726,931,012円	1,789,114,804円	▲62,183,792円
申請3年度前の決算	1,756,158,460円	1,779,198,432円	▲23,039,972円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	1,041,648,426円	427,427,775円	614,220,651円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	940人	791人	84%
前年度	940人	800人	85%
前々年度	940人	775人	82%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
固定資産	特定資産(将来構想関連事業引当特定資産・第3号基本金引当特定資産・退職給与引当特定資産)	716,551,625円
流動資産	現金預金	325,096,801円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
固定負債	長期借入金・長期未払金	264,030,572円
流動負債	短期借入金・未払金	163,397,203円

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人 長崎総合科学大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
工学部	工学科	夜・通信	2	2	127	131	13	
総合情報学部	総合情報学科	夜・通信		6	34	42	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

Web 公開しているシラバスの冒頭に一覧を掲載している https://nias.ac.jp/91_ForStudent/parts/for_students/syllabus20190702.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人 長崎総合科学大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.nias.ac.jp/60_Administration/parts/top/index.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	扇精光ホールディングス(株) 代表取締役社長	H30.6.1～ R2.5.31	本学発展のための 外部意見の具申
非常勤	前 (株)長崎新聞社 社長	H30.6.1～ R2.5.31	本学発展のための 外部意見の具申
非常勤	(株)親和銀行 取締役専務執行役員	H30.6.1～ R2.5.31	本学発展のための 外部意見の具申
非常勤	長崎県教育委員会 委員	H31.4.1～ R2.5.31	本学発展のための 外部意見の具申
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人 長崎総合科学大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教務専門委員会でシラバス作成のためのマニュアルを策定し、作成依頼時に提示すると共に平成30年度にはFDを開催し周知を図った。</p> <p>シラバスはWeb上で登録しており、各科目担当者が登録後に所属の教務専門委員が内容を確認し、修正が必要な場合は科目担当者へ修正を依頼し再度確認するようにしている。教務専門委員による確認が終了した後、教務委員長、副委員長が再度確認し公開している。</p> <p>学生はWebポータルシステムでオリエンテーション以降シラバスを閲覧することが可能となり、同じ内容のPDFデータのシラバスを大学ホームページにも公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://nias.ac.jp/91_ForStudent/parts/for_students/syllabus20190702.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>2019年度入学生より評価基準を改定し適用している。</p> <p>2019年度入学生はS(90~100点)、A(80~89点)、B(70~79点)、C(60~69点)、D(59点以下)の5段階評価、2018年度以前の入学生は優(80~100点)、良(70~79点)、可(60~69点)、不可(59点以下)の4段階評価で、シラバスに公表されている評価方法・評価基準に基づき評価を行っている。また、学生がより理解しやすいよう評価基準を補完するものとして、Webポータルシステムのシラバス閲覧機能からは、ループリック評価表が参照できるようになっている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>2019年度入学生より「学修成果の指標に関する規程」を制定し適用しており、2018年度以前の入学者は試行運用として取り扱っている。</p> <p>2019年度入学生については授業科目の成績評定に対して、Sには4点、Aには3点、Bには2点、Cには1点、Dには0点のGrade Point (GP)を対応させ、履修した各授業科目に対して、その単位数にGPを乗じてから加算し、その合計を履修申告した総単位数で除算する。その結果から、小数点以下第3位の値を四捨五入して得られる値をGPAの値とし、学生の履修指導などに利用している。計算式は以下の通り。</p> $GPA = \frac{(S \text{ の単位数} \times 4) + (A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + (C \text{ の単位数} \times 1) + (D \text{ の単位数} \times 0)}{(S \text{ の単位数}) + (A \text{ の単位数}) + (B \text{ の単位数}) + (C \text{ の単位数}) + (D \text{ の単位数})}$	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>Web 公開している規程集 (P.54) へ掲載 https://www.nias.ac.jp/91_ForStudent/parts/for_students/kiteishu2019.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>建学の精神である「自律自彊」(教養・倫理を身につけ、自らを律することのできる市民となる)、「実学実践」(自然科学に関する基礎知識と工学の専門知識を修得し、「ものづくりとしての実行力」を身につける)「創意創新」(論理的思考を修得し、新しい問題に取り組み、新しいものを創造することにより解決できる能力を身につける。工学の専門家としては「ものまねでない新技術の開発力」を身につける)「宇内和親」(人間社会の多様な文化を理解し、世界的な視野を持って、社会の一員としてその発展に貢献できる能力を身につける)を体現した者に学位を授与する。そのためには大きく分けて2つの専門知識が必要であり、1つはこれまでそしてこれからも日本の基盤となる工学技術の中核をなす工学の専門知識であり、それを修得した者に工学部工学科は学士(工学)の学位を授与します。もう1つは、新時代に出現し、これからの社会の基盤となる情報技術と密接に組み合わせ、それを様々な分野に横断的かつ総合的に活用し、その活用を介して様々な分野を繋ぎ、新しい価値を創生するという新しい工学の専門知識であり、それを修得した者に総合情報学部総合情報学科は学士(工学)の学位を授与します。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://nias.ac.jp/35_Policy/index.html#diploma</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人 長崎総合科学大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/Estimate/taisyaaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/Estimate/katsudoukubun.pdf https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/Estimate/jigyokatsudou.pdf
財産目録	https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/Estimate/zaisanmoku.pdf
事業報告書	https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/Estimate/jigyohokoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/Estimate/kanjikanisahokoku.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 中期経営計画)	対象年度: 2015-2019年度)
公表方法: https://www.nias.ac.jp/60_Administration/parts/top/tyuki.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://nias.ac.jp/60_Administration/hyouka.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://nias.ac.jp/60_Administration/hyouka.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 工学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/kouhyou/1gakubugakka.pdf) (概要) 建学の精神及び大学の理念に基づいて、広く教養的知識を授けるとともに深く各専門分野の学術技芸を教授研究し、人間性豊かで創造性に富み地域及び国際社会に貢献できる人材を養成することによって、人間社会及び科学技術の進展に寄与するため、一般・専門基礎知識を広く修得して、建学の精神にもある「ものづくりとしての実行力」、「ものまねでない新技術の開発力」を獲得、さらにコミュニケーション能力と国際性を身につけた、技術者としての倫理観を持った21世紀循環型社会の構築に貢献できる人材を育成することを目的としています。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://nias.ac.jp/35_Policy/index.html#diploma) (概要) 建学の精神である「自律自彊」（教養・倫理を身につけ、自らを律することのできる市民となる）「実学実践」（自然科学に関する基礎知識と工学の専門知識を修得し、「ものづくりとしての実行力」を身につける）「創意創新」（論理的思考を修得し、新しい問題に取り組み、新しいものを創造することにより解決できる能力を身につける。工学の専門家としては「ものまねでない新技術の開発力」を身につける）「宇内和親」（人間社会の多様な文化を理解し、世界的な視野を持って、社会の一員としてその発展に貢献できる能力を身につける）を体現し、日本の基盤となる工学技術の中核をなす工学の専門知識を修得した者に、工学部工学科は学士(工学)の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://nias.ac.jp/35_Policy/index.html#curriculum) (概要) 教育課程は将来の社会において一個の人間として自立しつつ、社会に積極的に関わり貢献していく市民となるために必要な教養を学ぶための共通科目系列と、工学の専門知識を学び「ものづくりとしての実行力」・「ものまねでない新技術の開発力」を獲得し、技術者としての倫理観を持った21世紀循環型社会の構築に貢献し将来の社会を担う人材を養成するための専門科目系列の大きく2つに分かれ、2つの科目系列の枠組みにとらわれず、それぞれが有機的に連携することにより、自らの人生全体を考え、自ら建てた目標を目指す態勢を整えるキャリア教育があり、大学入学前の教育制度に属していた人間が最高学府である大学に所属する大学生となるという心構えの転換を行う導入教育から始まり、市民として必須の論理的な思考やコミュニケーション能力を身につけ、さらに自らが学んでいく専門知識がどのように社会と関りあっているのかを学ぶことにより社会に出ていく準備を整えると共に、生涯にわたって様々なことを自ら学んでいく姿勢自体を身につけられるよう設計されています。この2つの科目系列が相互に関連しあい、全体として1つの教育課程を修めることにより、学位授与の方針に定められた人物像に成長できるように設計されています。このことを保証するために、各科目群には必修科目などの指定をしています。その条件を満たしつつ、卒業要件を満たすことにより、学位を取得

<p>できるようになっています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://nias.ac.jp/35_Policy/index.html)</p>
<p>(概要) 工学部工学科は、一般・専門基礎知識を広く修得して、建学の精神にもある「ものづくりとしての実行力」「ものまねでない新技術の開発力」を獲得し、さらにコミュニケーション能力と国際性を身につけ、技術者としての倫理観を持った 21 世紀循環型社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的とします。そのために、次のような学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりが好きで、科学技術に興味を持ち、さらに能力を向上させようとする人 ・高い志を持ち、環境に優しいものづくりを通して、社会に貢献したい人

<p>学部等名 総合情報学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法 : https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/kouhyou/1gakubugakka.pdf)</p>
<p>(概要) 建学の精神及び大学の理念に基づいて、広く教養的知識を授けるとともに深く各専門分野の学術技芸を教授研究し、人間性豊かで創造性に富み地域及び国際社会に貢献できる人材を養成することによって、人間社会及び科学技術の進展に寄与するため、情報と様々な分野を総合的に活用していく知識と技術を修得し、これからの社会に貢献できる人材を育成し、21 世紀循環型社会に求められる情報技術に関する活用技術を有した、高い国際性・技術倫理・コミュニケーション能力・課題発見能力・課題解決能力を持つ人材を育成することを目的としています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://nias.ac.jp/35_Policy/index.html#diploma)</p>
<p>(概要) 建学の精神である「自律自彊」(教養・倫理を身につけ、自らを律することのできる市民となる)「実学実践」(自然科学に関する基礎知識と工学の専門知識を修得し、「ものづくりとしての実行力」を身につける)「創意創新」(論理的思考を修得し、新しい問題に取り組み、新しいものを創造することにより解決できる能力を身につける。工学の専門家としては「ものまねでない新技術の開発力」を身につける)「宇内和親」(人間社会の多様な文化を理解し、世界的な視野を持って、社会の一員としてその発展に貢献できる能力を身につける)を体現し、社会の基盤となる情報技術と密接に組み合わさり、それを様々な分野に横断的かつ総合的に活用して、様々な分野を繋ぎ、新しい価値を創生するという新しい工学の専門知識を修得した者に、総合情報学部総合情報学科は学士(工学)の学位を授与します。</p>

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://nias.ac.jp/35_Policy/index.html#curriculum)</p> <p>(概要) 教育課程は将来の社会において一個の人間として自立しつつ、社会に積極的に関わり貢献していく市民となるために必要な教養を学ぶための共通科目系列と、工学の専門知識を学び「ものづくりとしての実行力」・「ものまねでない新技術の開発力」を獲得し、技術者としての倫理観を持った21世紀循環型社会の構築に貢献し将来の社会を担う人材を養成するための専門科目系列の大きく2つに分かれています。</p> <p>そしてその2つの科目系列の枠組みにとらわれず、それぞれが有機的に連携することにより、自らの人生全体を考え、自ら建てた目標を目指す態勢を整えるキャリア教育が編成されています。キャリア教育は大学入学前の教育制度に属していた人間が最高学府である大学に所属する大学生となるという心構えの転換を行う導入教育から始まり、市民として必須の論理的な思考やコミュニケーション能力を身につけ、さらに自らが学んでいく専門知識がどのように社会と関りあっているのかを学ぶことにより社会に出ていく準備を整えると共に、生涯にわたって様々なことを自ら学んでいく姿勢自体を身につけられるよう設計されています。</p> <p>この2つの科目系列が相互に相関しあい、全体として1つの教育課程を修めることにより、学位授与の方針に定められた人物像に成長できるように設計されています。このことを保証するために、各科目群には必修科目などの指定をしています。その条件を満たしつつ、卒業要件を満たすことにより、学位を取得できるようになっています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://nias.ac.jp/35_Policy/index.html)</p> <p>(概要) 総合情報学部総合情報学科は、一般・専門基礎知識を広く修得して、情報技術とそれが活用される様々な分野についての広範な知識と技術を有し、21世紀循環型社会に求められる情報技術の活用技術の開発に寄与し、高い国際性・技術者倫理・コミュニケーション能力・課題発見能力・課題解決能力を持つ人材を養成することを目的とします。そのために、次のような学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術に興味を持ち、さらに幅広い能力を向上させようとする人 ・高い志を持ち、環境にも配慮した新しい価値を創造することを通じて、社会に貢献したい人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法 : https://nias.ac.jp/60_Administration/kouhyou.html</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
工学部	—	9人	7人	1人	2人	0人	19人
総合情報学部	—	7人	5人	2人	1人	0人	15人
共通教育部門	—	7人	5人	3人	0人	0人	15人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		72人					72人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://nias.ac.jp/teachers/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
毎年、教務に関するFDを開催している。平成30年度は、教育の質の保証（学修成果の可視化）、学習支援センターの活性化等について開催した。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	150人	109人	72.7%	600人	517人	86.2%	若干名	2人
総合情報学部	85人	75人	88.2%	340人	274人	80.6%	若干名	1人
合計	235人	184人	78.3%	940人	791人	84.1%	若干名	3人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	108人 (100%)	18人 (16.7%)	84人 (77.8%)	6人 (5.5%)
総合情報学部	56人 (100%)	7人 (12.5%)	47人 (83.9%)	2人 (3.6%)
合計	164人 (100%)	25人 (15.2%)	131人 (79.9%)	8人 (4.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 長崎総合科学大学大学院、九州工業大学大学院、(株)名村造船所、大島造船(株)、(株)カネミツ、(株)相浦機械、(株)穴吹工務店、五洋建設(株)、伸和コントロールズ(株)、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、(株)アステム、社会医療法人春回会井上病院、日本データスキル(株)、(株)シーヴィテック九州、(株)福岡九州クボタ、(株)メットライフ生命保険(株)、マツハヤ・コーポレーション(株)、協和機電工業(株)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	122人 (100%)	102人 (83.6%)	5人 (4.1%)	15人 (12.3%)	人 (%)
総合情報 学部	65人 (100%)	51人 (78.5%)	4人 (6.1%)	10人 (15.4%)	人 (%)
合計	187人 (100%)	153人 (81.9%)	9人 (4.8%)	25人 (13.3%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>教務専門委員会でシラバス作成のためのマニュアルを策定し、作成依頼時に提示すると共に平成30年度にはFDを開催し周知を図った。</p> <p>シラバスはWeb上で登録しており、各科目担当者が登録後に所属の教務専門委員が内容を確認し、修正が必要な場合は科目担当者へ修正を依頼し再度確認するようにしている。教務専門委員による確認が終了した後、教務委員長、副委員長が再度確認し公開している。</p> <p>学生はWebポータルシステムでオリエンテーション以降シラバスを閲覧することが可能となり、同じ内容のPDFデータのシラバスを大学ホームページにも公開している。</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)					
<p>2019年度入学生は S (90~100点)、A (80~89点)、B (70~79点)、C (60~69点)、D (59点以下) の5段階評価、2018年度以前の入学生は 優 (80~100点)、良 (70~79点)、可 (60~69点)、不可 (59点以下) の4段階評価で、シラバスに公表されている評価方法・評価基準に基づき評価を行っている。また、学生がより理解しやすいよう評価基準を補完するものとして、Webポータルシステムのシラバス閲覧機能からは、ループブック評価表が参照できるようになっている。</p>					
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)		履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	工学科	124 単位	2019年度入学生	有・無	48 単位
			2018年度以前 入学生	有・無	52 単位
総合情報 学部	総合情報 学科	124 単位	2019年度入学生	有・無	48 単位
			2018年度以前 入学生	有・無	52 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：Web公開している規程集（P.91、P93）へ掲載 https://www.nias.ac.jp/91_ForStudent/parts/for_students/kiteishu2019.pdf			
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法： https://nias.ac.jp/60_Administration/parts/kouhyou/10learning1-4_2019.pdf			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://nias.ac.jp/60_Administration/kouhyou.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
工学部	工学科	780,000円	220,000円	445,000円	教育充実費 300,000円 実験実習費 120,000円 医療工学コース履修費 25,000円 (医療工学コースのみ)
総合情報学部	総合情報学科	780,000円	220,000円	420,000円	教育充実費 300,000円 実験実習費 120,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 授業時間割の策定、受講登録の受付、成績の管理、生活相談、福利厚生等に関する ことについて対応している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 就職に関わる求人先の開拓、調査、就職の斡旋や情報の提供を行い、進路について の相談にも応じている。 インターンシップに掛かる事務も取り扱っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 健康診断、保健指導及び精神衛生管理に関することや、身体的、精神的健康相談及び 応急処置について対応している。 専門医療機関の紹介、斡旋。 CPR講習(心肺蘇生法)の実施に携わり、学内での心肺蘇生教育の普及に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://nias.ac.jp/60_Administration/kouhyou.html